

■■ 総 括 ■■■■■

評価結果

- 授業に真面目に取り組む姿勢が年々高くなってきています。言われたことをきちんとこなすタイプの生徒が増えている一方で、テストに取り組む姿勢は良いとは言えず(テスト前は、自ら進んで学習する 67.0 %)、理由として、勉強方法がわからない、スマホ漬けになっている等が考えられます。
- 今年度はコロナの影響でスタートが2ヶ月遅れ、年度当初の学習指導が十分に行えなかった上に、家庭学習期間が長く、高校生としての心構えが醸成しきれなかった感は否めないようです。
- 部活動が精選され、少ないながらも一生懸命取り組む生徒が増えたのは、学校行事の多くが中止になる中、学習活動以外の場面で部活動という場での自己表現を求める生徒が多かったからと考えられます。
- 進路や学校生活全般の項目について、生徒と保護者の評価で対照的な結果が出ました。およそ生徒の評価が高く保護者の評価が低く出ました。コロナの影響で学校を開放する機会がほぼ無くなり、学校理解や教師理解の乏しいまま年度が終わってしまったことが大きな要因と考えられます。
- HPなど学校情報の項目で保護者の評価が低くでました。生徒が学校での情報等を家庭内に伝えていない、あるいはHP等を見ていない家庭が多いことが予想されます。今後の対策を検討していきたいところです。

評価結果に基づく今後の改善方策等

- 授業の充実をはかるため、タブレット端末機器や、HR教室への液晶テレビ等の導入も進み、一部の授業ではZOOMアプリを使ったオンライン授業も行いました。コロナ禍という時勢に適応した更なる授業の充実化を積極的に図りたいと考えています。
- 普通科においても、水産科の生徒が感じているような学び甲斐を感じられる授業を目指すため、「那珂川学」の一層の充実を目指しています。現在1・2学年で行っている「総合的な探究の時間」と連携した「ちょこっとプロジェクト」は、自分で課題を見つけ自分の力で解決するという学習の総合性に適合したものであり、生徒一人一人が自身の進路決定の際にもその力が役立ち、結びつけていけるようにしたいところです。
- 保護者の方々にも、生徒の様子や学校行事等に関心を持っていただき、参加できる機会があれば参加率が上がるよう、広報活動の工夫改善をしていきたいと考えています。
- 家庭学習について、保護者への協力を呼びかけていきたいと考えています。
- 1年次からのキャリア教育を充実させ、学力の向上をめざし希望進路の実現に繋げられる教育活動の充実を考えています。
- 精選された数少ない部活動の中、入部率を高め学校生活の充実を図りたいと考えています。
- 本校で行っている資格試験等のPRを更に積極的に行い、資格取得への意欲を向上させたいと考えています。